

は じ め ま し て
S O U P 展

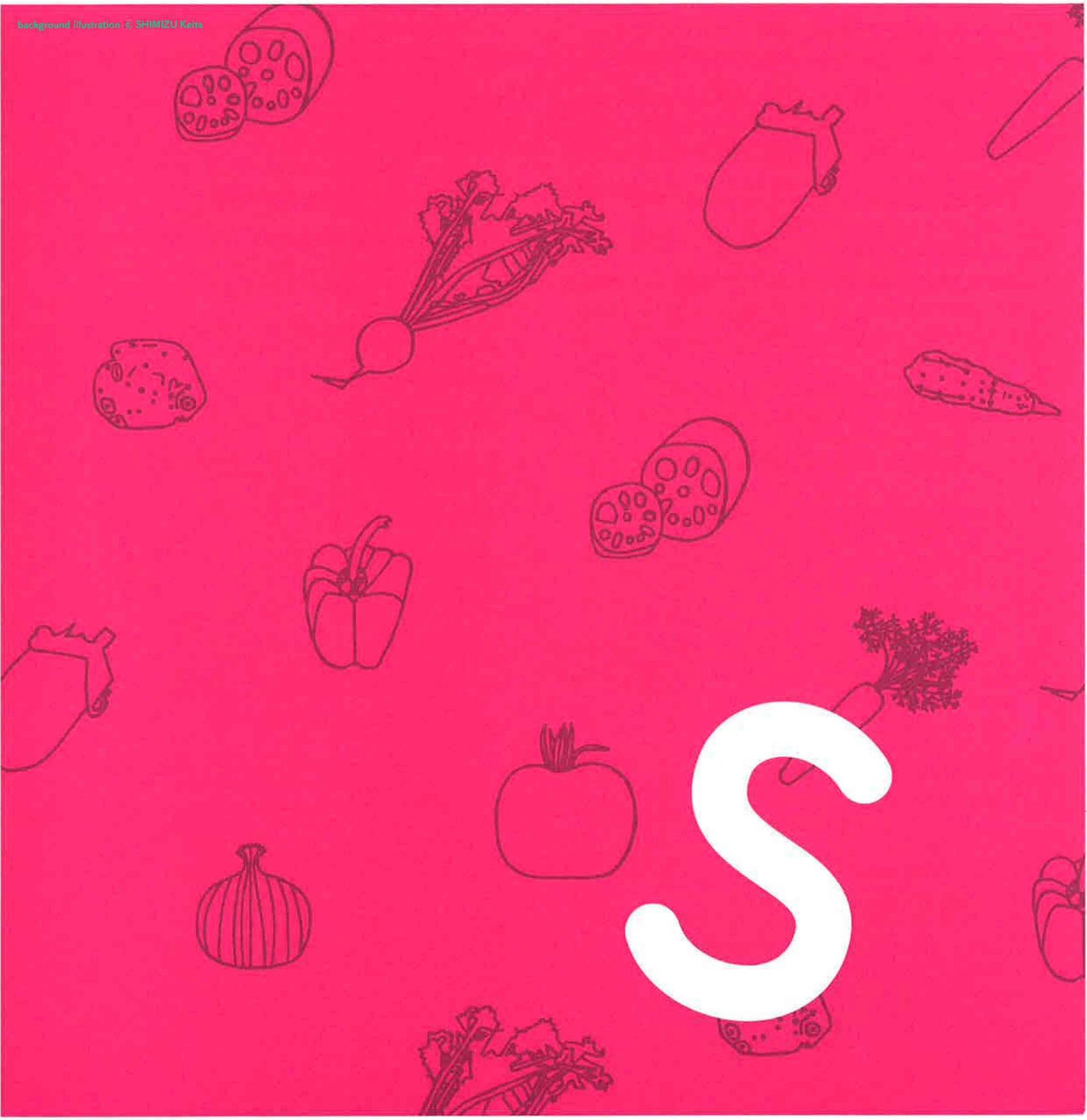
宮城県の障害のある人の表現活動について紹介する展示会

2015.1.15_(木)—18_(日) 11:00—19:00 [最終日16:00迄]

せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア



background illustration © SHIMIZU Reha





SOUP —まぜると世界が変わる—

四季を通じたお祭り、街中でくり広げられるアートイベント、世界の人がとが集まる音楽のフェスティバル…、芸術文化活動が盛んな宮城県。でも、みなさんは障害のある人たちによる表現を、どれほど目にすることがあるでしょうか？ わたしたちは、宮城県内でさまざまに活動している障害のある人たちの表現活動の原石を探し、その魅力や情報を発信し、新しい交流や参加の機会をつくりたいと考えています。障害(バリア)から価値(バリュー)へ。障害、性別、世代、地域…、ちがいを受け入れられる文化のある社会こそが、本当に豊かなまち。その突破口のひとつとして、障害のある人たちの芸術文化活動を新しい視点からご覧ください。今回はその活動のはじまりを紹介する展示会です。はじめましてSOUP。

【SOUPの由来 —Sign x Open x Upset x Planet—】

SOUPという文字には、4つの言葉がかくされています。「Sign」「Open」「Upset」「Planet」。それぞれの言葉にわたしたちのおもいが込められています。

- Sign(しるし)**: 障害のある人たちの表現活動を通して立ち現れるものは、その人がそこにいるという存在の「しるし」。それはその人の存在そのもの。わたしたちは、そのしるしを見逃しません。
- Open(ひらく)**: 障害のある人たちの表現を社会に「ひらく」ことは、その人を社会へとつなぐこと。またそれにより、社会もよりひらかれたものとなると考えます。わたしたちは、そうした世の中になることを願っています。
- Upset(ひっくりかえす)**: 障害というバリアを「ひっくりかえす」手段のひとつが芸術活動であるとわたしたちは考えます。障害と芸術をかけ合わせることで生まれる価値(バリュー)。これこそが、わたしたちの活動です。
- Planet(よりそう)**: わたしたちは、障害のある人たちと、その家族・支援者・社会活動の周りをまわる惑星です。中心ではなく、あくまでも惑星。わたしたちは、そうした人や活動に「よりそう」存在でありたいと思っています。

【展示内容1—じょうほうスープ】

宮城県内を歩いてみたら、障害のある人たちがいろいろな場所でいろいろな人といろいろな表現活動をしていました。絵画、ダンス、音楽、演劇などなど…。たくさんの人にその活動を知っていただき、参加してほしいと思います。

【展示内容2—きろくスープ】

だが、どんなところで、どのように活動しているのでしょうか。3つの切り口から宮城県の障害のある人たちの表現活動を記録しました。写真と映像をご紹介します。

- 個人の活動**: 阿部鉄平さん、松浦繁さん
- 民間の活動**: あーとらんどくらぶ(仙台市)、ペンギンズアート工房(石巻市)
- 福祉施設の活動**: 多夢多夢中山工房(仙台市)、工房地球村(山元町)



工房地球村(山元町)



あーとらんどくらぶ(仙台市)

【展示内容3—ゆめのスープ】

SOUPは「つくて、ひろげて、つなげて、まもる」をキーワードに障害のある人の表現活動を支援していきます。この活動により何が可能になるのでしょうか？ 宮城県ではじまりつつある事例を通して、未来の夢を描いてみます。

- 美術家としての活躍**: 塗敦子さん、木伏大助さん
- 障害者アートとビジネスの可能性**: 川辺拓也さん、清水敬太さん
- ハンディキャップがコンテンツに**: まくらカフェ(視覚障がいのある方+宮城県障害者福祉センター+せんだい演劇工房10-BOX)



塗敦子(2009) w148 x h100mm クレヨン、サインペン



木伏大助(2004) w257 x h364mm 色鉛筆

【関連企画】

●てつがくカフェ@せんだい

テーマ: 障害のある人の芸術活動とは? ~障害者と文化芸術活動vol.2~

日時・場所: 1/15(木) 18:00-20:00 展示会場内

てつがくカフェは、わたしたちが通常あたり前だと思っていることから、いったん身を引き離し、そもそもそれって何なのか? といった問いを投げかけるものです。わたしたちの暮らしの中にある文化や芸術。ときには自ら喜怒哀楽を表現し、ときには見たり聞いたり触れることで癒されることもあります。人が生きていく中でそれにはどんな可能性があるのでしょうか。参加費無料、申込不要。参加ご希望の方は、当日時間までに直接会場へお越しください。(ファシリテータ: 西村高宏さん/ファシリテーショングラフィック: 近田真美子さん)

●「やまもと まちあるきアート(仮)」わいわい公開プレゼンテーション

日時・場所: 1/17(土) 14:00-16:00 展示会場内

2015年2~3月にかけて、宮城県山元町で障害のある人のアートを展示します。障害のある人たちのアートの力ってなんだろう? それをどのように届けるのか? 12月のワークショップに参加したメンバーがアイデアを紹介します。一般からも企画を募集しています。

●SOUP交流会

日時・場所: 1/17(土) 16:30-18:30 展示会場となり クレブススクールカフェ

参加費: 2,000円(ドリンク・軽食)

宮城県内のさまざまな作家たちや関係者が大集合します! ぜひ、この機会に交流しましょう。交流会に参加をご希望される方は、下記事務局までお申し込みください。



【せんだいメディアテークへのアクセス】

●仙台市地下鉄: 「勾当台公園駅」下車、公園2出口から徒歩6分。(約450メートル) ●仙台市営バス: 「仙台駅前29番」(荻内銀行前)のりばから「定禅寺通市役所前」經由「交通局大学病院」行き(系統番号J410)で約10分、「メディアテーク前」下車。●自動車: 東北自動車道仙台宮城ICから約10分。(約5.3キロメートル) ※近隣に有料駐車場あり

【主催・後援・協力】

●主催: 特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン ●後援: 宮城県、仙台市 ●後援(申請中): 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会、公益財団法人宮城県文化振興財団、公益財団法人仙台市民文化事業団、河北新報社 ●協力: ArtSeeds、特定非営利活動法人アートワークショップ すんぷちよ、アトリエ創、Able Art Company、ギャラリーくろすろーど、社会福祉法人光林会 るんびにい美術館、せんだいメディアテーク、てつがくカフェ@せんだい、ハート&アート空間ピーアイ

【事務局・お申込み先・お問い合わせ先】

●特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局: 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区福岡5-12-55 NAVISビル1F cocolin内 TEL.070-5328-4208
●特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン東京事務局: 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14 アーツ千代田3331 #208 TEL.03-5812-4622 FAX.03-5812-4630
●Email: office@ableart.org ●Web: http://www.ableart.org/

*この事業は障害者の芸術活動支援モデル事業[厚生労働省]の一環で行っています。

*会場構成・デザイン: haiken LLP (ハルケン)